

製品名: G3BP ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe04080**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.53mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 52 kDa; Observed MW: 68 kDa

抗原情報

遺伝子名	G3BP1
別名	G3BP1; G3BP; Ras GTPase-activating protein-binding protein 1; G3BP-1; ATP-dependent DNA helicase VIII; hDH VIII; GAP SH3 domain-binding protein 1
遺伝子 ID	10146
SwissProt ID	Q13283
免疫原	ヒト G3BP の合成ペプチド

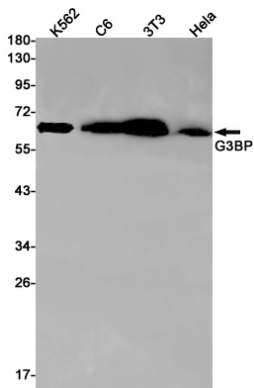
背景

ストレス顆粒の集合を制御するエフェクターである可能性がある。in vitro において、リン酸化依存性配列特異的エンドリボヌクレアーゼ。シトシンとアデニンの間のみを切断し、MYC mRNA を 3'-UTR で優先的に切断する。

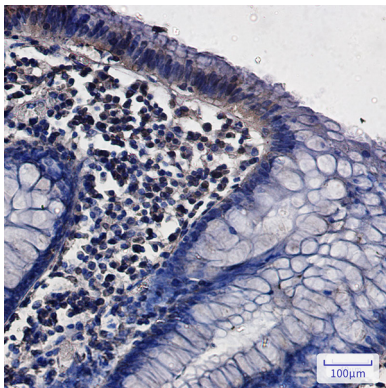
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

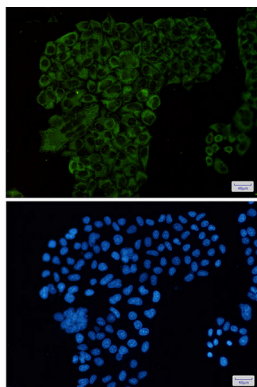
画像データ



G3BP 抗体を使用した K562、C6、3T3、Hela 溶解物中の G3BP のウエスタンブロット分析。



G3BP 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



G3BP 抗体と DAPI (青) を用いた HeLa 中の G3BP (緑) の免疫細胞化学分析